



## 製品安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)

KF-96-SP

製造元

会社名

信越化学工業株式会社

連絡先

群馬事業所 品質保証部

住所

〒379-0195 群馬県安中市磯部2-13-1

電話番号

027-385-2172

ファックス番号

027-385-2753

供給元

会社名

信越化学工業株式会社

連絡先

シリコン事業本部 総括部

住所

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1

電話番号

03-3246-5121

ファックス番号

03-3246-5381

緊急連絡先

027-385-2172 (休日・夜間: 027-385-2111)

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

離型剤・剥離紙用離型剤  
プラスチック成形用離型剤

使用上の制限

一般工業用

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

エアゾール

区分1

健康に対する有害性

危険有害性の分類に該当するという情報はありません。

環境に対する有害性

危険有害性の分類に該当するという情報はありません。

\*記載がない危険有害性は、「区分外」、「分類対象外」または「分類できない」である。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。 高压容器: 熱すると破裂のおそれ。

注意書き

安全対策

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

保管

日光から遮断し、40℃以上の温度に暴露しないこと。

想定される非常事態の概要

与圧内容物。  
エアゾール 与圧容器は熱や炎に暴露すると爆発する恐れがあります。

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

(シリコン溶液)

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
液化石油ガス(L.P.G.)	68476-85-7	対象外	対象外	95 - 100

化審法; 全成分登録済保証。

## 4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所へ移動する。 症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚を石鹸と水で洗うこと。

目に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。 直ちに医師の手当てを受けること。

応急措置をする者の保護

医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じて処置すること。

## 5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO2)。
使ってはならない消火剤	知見なし。
火災時の特有の危険有害性	加熱および火災により有害な蒸気/ガスが生成されることがある。
特有の消火方法	もし危険を冒さずにできる場合は、火災区域から容器を移動させる。火災の場合は、散水により容器を冷却する。
消火を行う者の保護	消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器 (SCBA) を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	安全を確認してから、流出防止の措置をとる。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	全ての着火源を取り除く (その場での喫煙、炎、スパークまたは火炎は禁止)。可燃性物質 (木材、紙、油など) を流出物から遠ざける。可能な場合は漏出物が広がるのを防止すること。布等の吸収材で拭き取る。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策 (局所排気、全体換気等)	加圧容器: 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。容器を切削、溶接、はんだ付け、穴開け、研削したり、あるいは熱、炎、火花やその他の発火源に暴露してはならない。製品を取り扱う時に使用するすべての装置は、接地しておく必要がある。適切な換気を行う。
安全取扱い注意事項	取扱い/保管は慎重に行うこと。裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当てないようにする。火炎や白熱物質に向けてスプレーしてはいけない。スプレーボタンが失われていたり不良品の場合には使用してはならない。スプレーの使用またはスプレーした表面が完全に乾燥するまでは禁煙。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
適切な衛生対策	休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。適切な産業衛生および安全対策のもとに取扱う。
保管	
安全な保管条件	日光から遮断し、40℃以上の温度に暴露しないこと。穿孔、焼却、圧潰してはならない。熱、火花、裸火から離して保管する。容器を密閉しておくこと。子供の手の届かないように保管すること。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。
安全な容器包装材料	元の容器で保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 (暴露限界値) および管理濃度

日本産業衛生学会 - 許容濃度成分

成分	タイプ	数値
イソブタン (CAS 75-28-5)	TWA	1200 mg/m3 500 ppm
イソペンタン (CAS 78-78-4)	TWA	880 mg/m3 300 ppm
ノルマルペンタン (CAS 109-66-0)	TWA	880 mg/m3 300 ppm
ブタン (CAS 106-97-8)	TWA	1200 mg/m3 500 ppm

ACGIH成分

成分	タイプ	数値
イソブタン (CAS 75-28-5)	STEL	1000 ppm
イソペンタン (CAS 78-78-4)	TWA	1000 ppm
ノルマルペンタン (CAS 109-66-0)	TWA	1000 ppm
ブタン (CAS 106-97-8)	STEL	1000 ppm

設備対策 防爆型の全体および局所排気型換気装置。洗眼設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	有機ガス用防毒マスク。
手の保護具	保護手袋を着用すること。
目の保護具	側板付安全眼鏡 (またはゴーグル) を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

形状	液体
色	無色 透明
臭い	無臭
pH	データなし
融点 / 凝固点	-183 - -20 °C (-297.4 - -4 °F) [液化石油ガス(L.P.G.)]
沸点、初留点と沸騰範囲	< -40 °C (< -40 °F) [液化石油ガス(L.P.G.)]
引火点	< -20 °C (< -4 °F) (密閉式) > 250 (開放式) [有効成分]
自然発火温度 (発火点)	> 250 °C (> 482 °F)
燃焼又は爆発範囲—下限	1.6 % v/v [液化石油ガス(L.P.G.)]
燃焼又は爆発範囲—上限	11.1 % v/v [液化石油ガス(L.P.G.)]
蒸気圧	> 130 kPa ( 20 °C ) [液化石油ガス(L.P.G.)]
蒸気密度	> 1 (空気=1.0) [液化石油ガス(L.P.G.)]
蒸発速度	> 1 (酢酸ブチル=1.0) [液化石油ガス(L.P.G.)]
比重 (相対密度)	0.56 ( 25 °C )
溶解性 (水)	不溶
n-オクタノール/水分配係数	該当せず
分解温度	データなし
粘度	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用、保管、輸送条件下で起こる既知の危険な反応はない。
化学的安定性	通常の間では安定。
危険有害反応可能性	危険な重合は起こらない。
避けるべき条件	特になし。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害性分解生成物	加熱又は燃焼により下記の分解生成物を発生する可能性がある。 一酸化炭素、二酸化炭素等の酸化炭素類、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。 二酸化珪素。 ホルムアルデヒド。

## 11. 有害性情報

急性毒性 知見なし。

## 12. 環境影響情報

生態毒性 知見なし。

## 13. 廃棄上の注意

地域の廃棄規制 完全に空になるまで噴射してから廃棄する。 穿孔、焼却、圧潰してはならない。 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 内容物/容器を地域/地方/国/国際規則に従って処理すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### IATA

UN number	UN1950
UN proper shipping name	Aerosols, flammable
Transport hazard class(es)	
Class	2.1
Subsidiary risk	-
Packing group	Not applicable.
Environmental hazards	No.
ERG Code	10L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
Other information	
Passenger and cargo aircraft	Allowed.
Cargo aircraft only	Allowed.

#### IMDG

UN number	UN1950
UN proper shipping name	AEROSOLS

**Transport hazard class(es)**

Class	2
Subsidiary risk	-
Packing group	Not applicable.
Environmental hazards	
Marine pollutant	No.
EmS	F-D, S-U
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送

本製品は、ばら積み輸送用ではありません。

IATA; IMDG



国内規制

国内輸送については15章の規制に従うこと。

緊急時応急措置指針番号

126

## 15. 適用法令

労働安全衛生法

特化則

- 第一類物質  
該当せず
- 第二類物質  
該当せず
- 第三類物質  
該当せず

有機則

- 第一種有機溶剤  
該当せず
- 第二種有機溶剤  
該当せず
- 第三種有機溶剤  
該当せず

通知対象物

- ブタン
- ペンタン

65 - 70 %

1.0 - 5.0 %

表示対象物

- 該当せず

毒物及び劇物取締法

特定毒物

- 該当せず

毒物

- 該当せず

劇物

- 該当せず

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

- 該当せず

第二種特定化学物質

- 該当せず

監視化学物質

- 該当せず

優先評価化学物質

- 該当せず

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

- 該当せず

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

- 該当せず

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

- 該当せず

消防法

指定可燃物 (可燃性液体類)

船舶安全法・危規則

高压ガス

---

航空法・施行規則	高压ガス
火薬類取締法	該当せず
高压ガス保安法	該当せず
海洋汚染防止法	該当せず

## 16. その他の情報

### 引用文献

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank  
IARC発がん性評価モノグラフ  
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens  
ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices  
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告  
JIS Z 7252:2009 GHSに基づく化学物質等の分類方法  
JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)  
日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

この安全データシートは、日本工業規格JIS Z 7253:2012に沿って作成致しました。本記載内容は代表値であり、規格、および保証値を示すものではありません。また、推奨される産業衛生措置および安全な取扱い方法は、通常取扱いにおいて適用した方が良いと思われる内容を記載しておりますので具体的な用途や取扱い条件に照らして、推奨事項が適切かどうかご検討の上ご判断頂くようお願い致します。

本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行ない、当該用途に使用する事の安全性をご確認の上ご使用ください。医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。

版番号	04
改訂日	2015/09/04